

授業科目	病態相互関係演習	担当講師	専任教員
開講年次	2年次	単位数・時間数	1単位・15時間
科目目標	関連図の意義、展開方法を学び、人体の構造・機能、病態、薬理作用などの相互関係を理解する。		
使用テキスト	ナーシング・グラフィカ「病態生理学」メディカ出版		
評価方法	課題への取り組みと課題提出により総合的に評価する。		
単元	時間数	学習内容	備考
1. 関連図とは	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 関連図とは</li> <li>2 関連図の種類</li> <li>3 関連図の書き方</li> </ul>	
2. 関連図の実際	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 病態関連図の展開</li> <li>2 疾患の原因、病態、症状、検査、治療の相互関連</li> </ul>	<p>疾患（原因・検査・治療・病態・症状）について事前学習しておく</p> <p>演習により展開した関連図について発表する。</p>